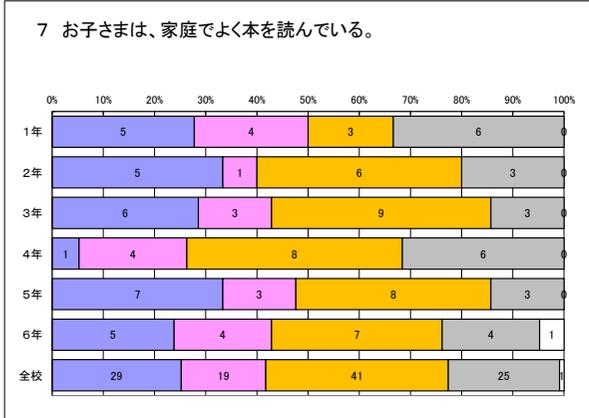
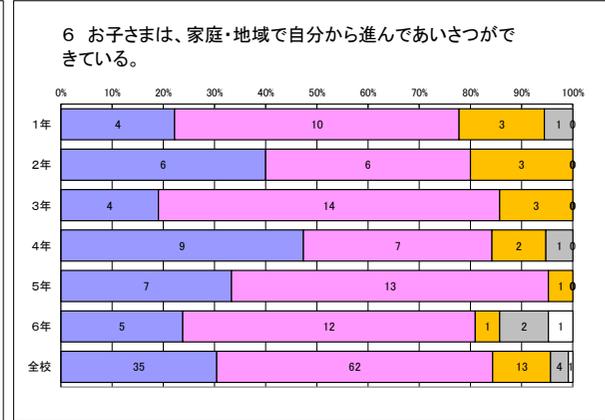
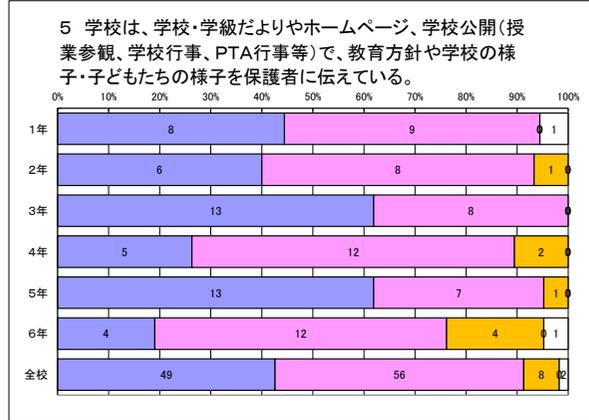
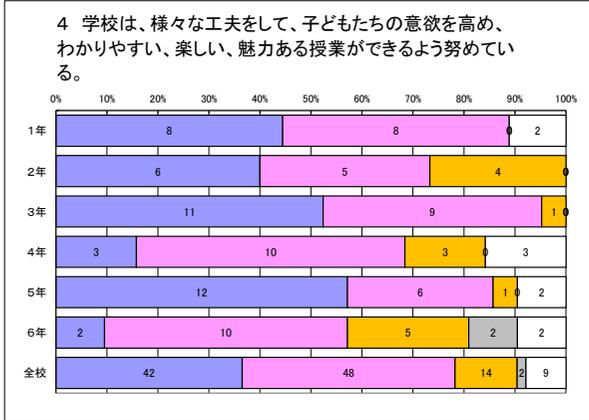
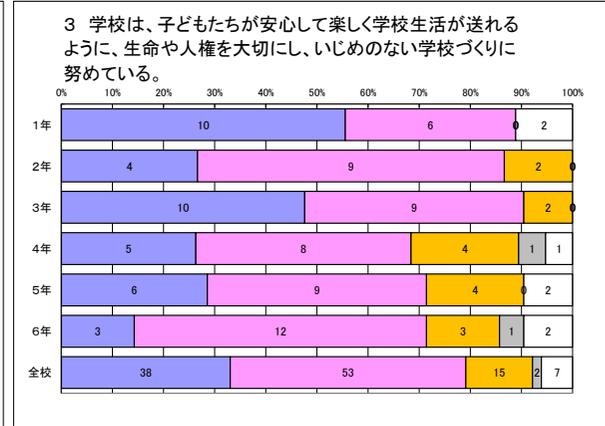
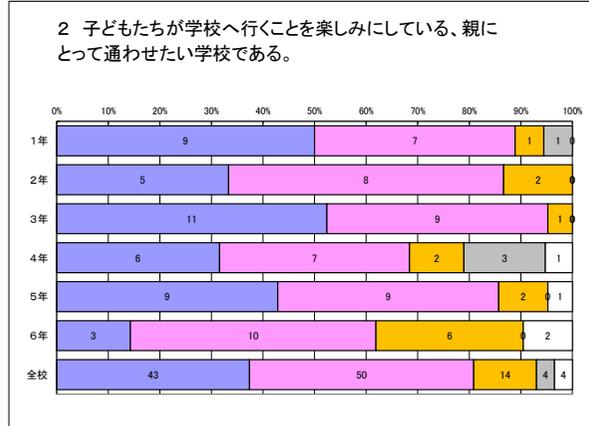
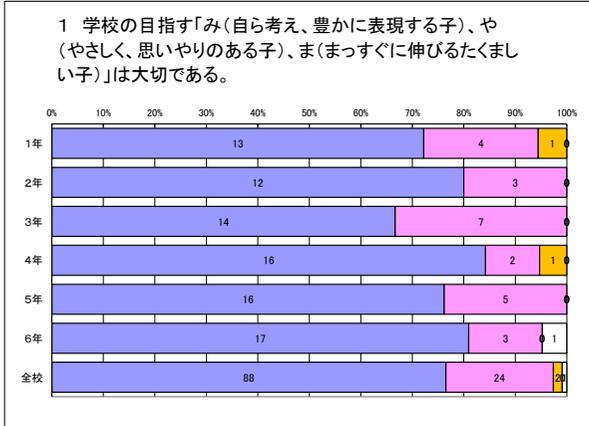


令和4年度 保護者中間アンケート集計結果

■ そう思う   
 ■ ややそう思う   
 ■ あまり思わない   
 ■ 思わない   
  わからない



◆中間アンケート結果より◆ ご多用のところ、アンケートにご協力いただき感謝申し上げます。

目指す児童像については概ね共感的にご理解いただいているものと考えておりますが、親にとって通わせたい学校、児童が通いたい学校であるかという質問項目や生命人権を大切に、いじめのない学校づくりに努めているかという質問項目、わかりやすい魅力ある授業ができていくかという質問項目で、「あまり思わない」、「思わない」といった否定的回答が相対的に多くなっています。家庭での読書習慣についても二極化の傾向が見られる結果となっています。

今後の改善策として、児童の実態に寄り添い、安心して楽しく過ごせる一人一人の居場所づくりに努めるほか、児童の主体的・対話的で深い学びを実現し「わかる」「できる」を実感できる授業づくりを推進していきます。授業研究等の研修機会を効果的に活用するとともに、日々の授業展開の工夫改善を進めるなど、改善すべき課題を明確化して、その改善にあたっていきたいと考えております。また、コロナ禍における諸行事・取組の在り方については、感染状況やガイドラインを踏まえ、児童の学びを停滞させることのないように努めてまいります。児童相互・教職員との関係づくりにかかわるご意見に対しましても、全教職員で共通確認し、改善を図ります。読み聞かせや週末読書など読書活動推進のための取組を軸に、ご家庭との連携を踏まえた読書活動の充実を図っていきたくと考えております。

今回のアンケート結果を真摯に受け止め、今後の学校運営に生かしていく所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします。